

令和7年度 港まちづくり協議会事業計画（案）

○：心地よく安心な港まちで暮らす

○ー（１）楽しく学び実践するみなとまち BOSAI

■ねらい	○発災時における観光客への対応、津波・液状化対策など、港まちならではの課題に挑戦する防災・減災の取り組みを推進する。 ○港まちを中心としたエリアにおける AED の活用を促進する。
■概要	○学区連絡協議会などの地元組織、小学校・幼稚園などの教育機関、地元企業や行政等とも協働した防災・減災の取り組みを実施し、他の地域へのモデルとしても発信していく。 ○町内会単位で防災・減災勉強会等を実施し、活動の担い手の発掘・育成を行う。 ○AED の設置個所を明記した既存マップを活用し、緊急時に誰もが AED を有効に活用できるようにサポートする。

○ー（２）暮らしの豊かさを育むコミュニティ活動

■ねらい	○港まちの日常を豊かにするコミュニティ活動と協働を図り、より多くの人々が関われる事業を展開していく。
■概要	○コミュニティづくりをテーマとした、子育て、ガーデン等の活動を支援し、人々の日常的なコミュニケーションの充実を促進する。 ○地域のお困りごとをサポートし、トワイライトスクールの講座にアーティストを派遣するなど、各事業では地域のニーズに即した内容を検討・展開する。 ○これまでの成果を引き継ぎつつ、地域内外の人々が交流するサロン活動を展開してきたグループの継続的な開催を支援する。

○ー（３）港まちならではの空間の有効活用

■ねらい	○旧防潮壁を活用した壁画制作を実施し、地域の中に思い出と愛着を育む。 ○江川線などの公共空間を活用し、地域の人々が気軽に立ち寄れて交流・お買い物のできるマーケットをつくる。
■概要	○アーティストと連携し、西築地小学校の児童の卒業制作として旧防潮壁に壁画を描き、その記録映像を作成する。 ○江川線の街路樹が伐採されて生まれる空間を有効活用し、地域の人々の交流や買い物のできるマーケットを定期的開催する。開催日には老若男女の集いの場や、街のファンづくりを目指した取り組みを実施する。

△：魅力的でにぎやかな港まちに集う

△ー（１）地域の特色を活かしたにぎわいづくり

■ねらい	○夏の恒例イベントとして開催されてきた「地蔵盆まつり」と連携し、港まちならではの魅力、にぎわいづくりに貢献する。 ○商店街恒例のセーラーズ、アッセンブリッジ・ナゴヤ等と連携して、新たなにぎわいを創出する。
■概要	○盆踊りが盛んな港まちの象徴的なイベントとして、地域の方が主体的に取り組める土台づくりをサポートし、老若男女が楽しめるコンテンツを盛り込む。 ○「ポットラックバザール」を開催し、商店街を中心に、学区連協やアッセンブリッジ・ナゴヤなどの地域活動組織との連携を図り、音楽、パフォーマンスやマーケットを中心としたにぎわいづくりを推進する。

△ー（２）アート&音楽を活用したまちづくり

■ねらい	○アート&音楽を活用し、芸術文化の力を取り入れたまちづくりの推進を目指す。
■概要	○ポットラックビル3階やスーパーギャラリー等を活用し、プログラムを実施する。展示はもとよりワークショップ等の交流イベントを積極的に開催し、地域の方々が楽しみながら、芸術文化に関わる機会をつくる。 ○地域の中の様々なイベントと連動したミニコンサートや、奏者と出会える機会を設け、地域の人々が、音楽を軸に交流を持てる機会を増やす。

△ー（３）ガーデンふ頭と連携したエリア一帯のにぎわいづくり

■ねらい	○海の見える港まちの象徴としてのガーデンふ頭を活かし、関連する施設等との連携を図りながら、街区を含む港まちエリア一帯のにぎわいづくりを目指す。
■概要	○既存のMAP等を活用し、ガーデンふ頭およびその周辺エリアで行われるにぎわいイベント等との協働を検討する。そこに港まちを回遊するための仕組みを織り込むなど、人々がガーデンふ頭周辺と街区を行き交いながら、港まちエリア一帯を楽しめるような仕掛けを検討していく。

□ : みんなと港まちを創る

□－（１）港まち内外の人々をつなぐ情報発信

■ねらい	○港まちづくり協議会が主催する事業に関する情報や西築地学区を中心とした港まち界隈の地域情報を発信する。
■概要	○ポットラック新聞タブロイド／かわら版を活用し港まちづくり協議会の主催事業等を効果的に発信すると同時に、港まちの地域資源に注目し、固有の施設や行事、または人物の関連情報等を効果的に発信する。また、その制作にあたっては、地域住民の皆さんに、取材対応や情報提供をいただき、編集・デザイン・出版のプロなどと相談しながら事業を推進する。 ○また、港まちづくり協議会で検討された事柄や実施する事業について、地域住民の皆さんをはじめ広く一般に知らせるために、協議会ニュースの発行、年次報告書の作成、ホームページ、SNS 運営などを実施する。

□－（２）港まちに呼び込む新たな風

■ねらい	○提案公募型事業を実施して、港まちづくり協議会の活動に新たな風を呼び込む機会とする。 ○地域からの要望に応える新規事業などを実験的に実施及び調査し、その可能性を検証する。
■概要	○提案公募型事業への応募者向けに相談窓口を常設し、事業申請をサポートし、参加の機会を広く設ける。またさらに、事業を実施することになった団体については、事業が効果的に実施できるように広報などのサポートを行う。 ○多くの方に携わっていただく機会を設け、新たなビジョンを作成する。 ○空き家の活用を促し、地域の空き家の情報取得や、地域内外から利用者を呼び込み、地域のにぎわいづくりを推進する。

□－（３）人づくりを軸にした協働まちづくり

■ねらい	○港まちポットラックビルを地域内外の人々の交流拠点として位置付け、地域の方々に親しまれ、港まちを訪れる方々にとっても立ち寄りやすい場として運営していく。
■概要	○港まちポットラックビル１階のラウンジスペースを活用し、港まちの店舗やイベント情報を来場者に紹介する。また、会議やトーク、ワークショップ等を開催し、地域の方々と意見交換を行う機会とする。 ○港まちポットラックビル２階の多目的スペースを、港まちの歴史や人々の記憶をテーマにした展示やレンタルスペースなどコミュニティ活動の実施会場などに活用する。またその他にも、地域内外の人々にとっての交流を促進する事業を検討する。

○△□：その他

（１）事務局運営経費

■ねらい	○協議会の事務局運営に必要な経費
■概要	○事務所の借上げ費、複合機等のメンテナンス料、事務局職員の人件費、税理士の顧問報奨費、電気、上・下水道使用料など。